

<参考2> 成田空港を巡る主な動きについて

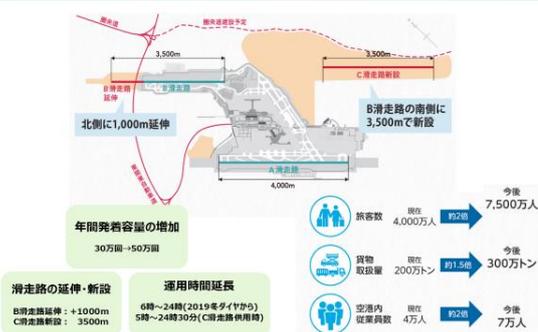
※1 「更なる機能強化」の概要

我が国及び首都圏の国際競争力強化、観光先進国の実現及び空港周辺地域の更なる発展のため、C滑走路の新設やB滑走路の北側への延伸、夜間飛行制限の変更により、年間発着容量を50万回とするもの。

50万回に到達時には、航空旅客数は7,500万人、貨物量は300万トン、空港内従業員数は7万人規模となることが期待されている。

平成30年(2018年)3月、四者協議会において合意がなされた。

更なる機能強化(50万回へ向けた取り組み)



(成田国際空港株式会社提供)

千葉県「成田空港の機能強化について」:<https://www.pref.chiba.lg.jp/kuushin/kinoukyouka2.html>

成田国際空港(株)HP「成田空港の明日を、いっしょに」:<https://www.narita-kinoukyouka.jp>

※2 「『新しい成田空港』構想」の概要

空港会社において、更なる機能強化の推進とあわせて、旅客ターミナルの再構築、航空物流機能の高度化、空港アクセスの改善、地域との一体的な発展等に関する成田空港の将来像となる『新しい成田空港』構想の検討を行うもの。

2024年7月にとりまとめ2.0を公表。



(出典:『新しい成田空港』構想)

『新しい成田空港』構想」:https://www.naa.jp/jp/airport/new_narita_airport.html

※3 「実施プラン」の概要

正式名称は「成田空港周辺の地域づくりに関する『実施プラン』」。

更なる機能強化の合意とともに、同日決定された『基本プラン』に基づき、具体的な施策事業を盛り込んだもの。

四者協議会において令和2年3月に決定され、令和6年9月に空港内外の状況の変化を踏まえ、見直しを行った。

「実施プラン」:<https://www.pref.chiba.lg.jp/kuushin/kinoukyouka3.html>

※4 具体的な取組

① 我が国の国際競争力の強化に向けた成田空港を核とした物流・産業拠点の形成等に関する要望

成田空港の更なる機能強化を生かし、我が国の国際競争力の強化を図るため、国の主導により、成田空港へのアクセス向上や空港を支える人材の確保、空港周辺地域における物流・産業拠点の形成等に取り組むよう、成田空港圏自治体連絡協議会とともに内閣総理大臣に対して要望。

「我が国の国際競争力の強化に向けた成田空港を核とした物流・産業拠点の形成等に関する要望」:
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kuushin/shutoken/moushiire/narita-youbou060729.html>

②成田空港周辺地域における民間投資の促進について（成田新産業特別促進区域基本計画）
千葉県では、空港周辺 9 市町とともに作成した、地域未来投資促進法に基づく「成田新産業特別促進区域基本計画」を活用し、成田新産業特別促進区域（空港周辺 9 市町）において、「物流」「精密機器」「航空宇宙」「健康医療」「農業」「観光」の産業集積に向けて取り組む。

成田空港周辺地域における民間投資の促進について（成田新産業特別促進区域基本計画）：

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kuushin/chiikimirai/narita.html>

③NRT エリアデザインセンターの設立

成田空港におけるエアポートシティ（仮称）の実現に向け、千葉県及び空港会社では、ビジョンやゾーニング案の策定、国際的な産業拠点形成、地域公共交通ネットワークの構築など広域的な調整が必要な取組を加速化するため、令和 7 年 1 月の四者協議会において、合意を得て、新たな組織である「NRT エリアデザインセンター」を令和 7 年 4 月に設立した。



（出典：成田空港周辺の地域づくりに関する「実施プラン」）